



プーンゴディ
(マラヴィカ モーハン)

マーリックの妻。シンガーラムの妹。爆発事件でペーッタと共に生き残り、逃げ着いた列車内でアンワルを出産。



アンワル
(サナント レッディ)

カーリが赴任した寮にいる学生。暴漢に襲われた際、その過去について知らされ、カーリと共に復讐の旅へ。



アヌ●
(メガ アカシュ)

アンワルの恋人。しかし寮の悪党集団のボス・マイケルも彼女に恋心を寄せ、2人の仲を妨害。



マンガラム●
(シムラン)

アヌの母。カーリが、アンワルとアヌの仲を認めるよう説得しに行くが、当の2人も”熟年カップル”に。



マイク マイケル●
(ボビー シンハー)

大学寮最終学年の悪党集団リーダー。カーリ赴任後、悪事を全て阻止された為対立。しかし後に仲間として復讐の旅へ。

ここがポイント!



他にも登場人物がたくさんいますが、物語の進行に大切なのはこの10名だけです。前半はアンワル、後半はジトゥゥが特に重要な役どころ。



ストーリー

(1) 大学寮

ダージリンの山間にある大学寮に、熟年の寮長・カーリが赴任。最初に放った言葉は

「黙って見ていればいい。これはカーリのゲームだ。」

その寮では、マイケル率いる最終学年の悪党集団に支配され荒れ放題。カーリはまずこの不良集団を叩きのめし、寮の食事なども改善。

生徒達からは「タレイバー (=リーダー)」として愛される存在に。そんな中、寮生にアンワルという学生がいて、アヌという娘と恋仲に。

しかしアヌはマイケルが恋心を寄せており、2人の仲を妨害しようと企てる。しかしまたしてもカーリが現れ2人を助ける。

カーリはアヌの母・マンガラムに、2人の仲を認めるよう説得する。

それがきっかけとなり、カーリとマンガラムもまた恋に落ちるのだった。



(2) カーリの”別の顔”

ことごとくカーリに屈辱を味わわされたマイケルは、

送別パーティー開催後の夜に、大学寮を襲撃することを計画。

それを実行に移したものの、同じタイミングで自身のグループとは全く別の集団がアンワルを狙って奇襲していることに気付く。

この集団こそ、ヤクザ政治家シンガーラムの手下が放った刺客。

それを察知したカーリは、20年ぶりにヌンチャクを手にする。

「もしお前に愛する子供や妻がいるなら、今すぐ走って逃げるがいい!

オレは今皆殺しモードだ。」

最強で最凶の漢 “ペーッタ・ヴェーラン” が、20年の時を経て復活する。